

- ① 所属名：介護療養型老人保健施設木の实（かいごりょうようがたろうじんほけんしせつ きのみ）
- ② 協会会員番号：1389
- ③ 氏名：松木 信（まつき まこと）
- ④ 所属県士会：山形県作業療法士会
- ⑤ タイトル：学会までいよいよあと 6 ヶ月
- ⑥ 本文：

第 23 回東北作業療法学会の開催までいよいよあと 6 ヶ月になりました。昨年は宮城県で開催予定であった東北学会も東日本大震災で中止になり、2年ぶりの学会になります。開催県である山形県作業療法士会の第 23 回東北作業療法学会実行委員会は、公立置賜総合病院の鈴木由美学会長を中心に日夜奮闘しています。東北各県作業療法士会の多くの作業療法士の皆さんに集まって頂き、是非学会を盛り上げていただきたいと思います。そして、参加された皆さんには「とても良い学会だった」と言って頂けるように山形県作業療法士会、一丸となって奮闘する決意であります。

さて、話は変わりますが震災で被災し山形に避難してきた方々が 3 月 22 日現在 13,693 人います。ほとんどが福島県の方々に、アパートなどに住んでいます。山形県としても避難者に対して様々な支援を行っていますが、避難してきた方々の中には、もう福島には帰れなくなった方もたくさんおられることでしょう。本当に心が痛みます。今年度の様々な学会や大会で、この震災における災害支援の活動が大きなテーマとなり、議論されることと思います。大規模災害時における日本作業療法士協会の対応の在り方や、都道府県作業療法士会連絡協議会の支部の対応、そして被災した県士会の対応また隣県する各県士会の対応、そしてそれぞれ各個人としての作業療法士の対応などどうあるべきか議論されるとともに、災害支援活動における作業療法そのものが議論されるのでは、ないでしょうか。震災直後の救援活動の中での作業療法や、避難所生活あるいは仮設住宅生活の方々における作業療法、地域が崩壊してしまった方々への作業療法、たくさんものを失い環境が一変してしまった方々に対する作業療法、そして時系列的な連携の在り方、チームとしての連携の在り方、私たちは、実際に支援活動を実践している県作業療法士会の活動を学び、作業療法そのものの核を追求し検証していく必要があります。皆さん、ぜひ山形に来て議論に参加しませんか。「今こそ、東北のちから!」、力には様々な意味があります。たくさん東北各県の作業療法士が山形に集まり今こそ作業療法士の東北の力を発揮しようではありませんか。

是非、山形に来てけらっしゃい！。